

教育改善提案計画調書所属学科名 (または所属課又は団体名) 薬学科応募者氏名(代表者氏名) 大井一弥

(注) 枠は適宜移動して下さい。ただし全体でA4で2枚までとします。

記述は12ポイントでお願いします。

1. 提案名	知識とスキルを融合したエピソード教育の実践
2. 目的と効果など	<p>鈴鹿医療科学大学で学ぶ学生は、未来の社会を見据えて、多様性に富む医療現場で活躍できるための素養を身に付けなければならない。しかし現今の多くの学生は、試験に合格することだけで、目一杯になっている状況が散見される。そのため繰り返し行われる試験に対応できたとしても、医療現場が必要としている知識の定着に至っているのかは疑問である。さて医療人の育成には、知識教育に加えてスキル教育も極めて重要である。スキルは、医療現場が求める重要な資質であり、待ったなしの状況に追い込まれても即断できる俊敏な対応力を指し、大学時代に培われるべきものである。しかし現在の教育体制では、知識教育とスキル教育がほとんどの教科で独立して実践されていることから、講義でスキルの必要性を説きながら、感性を鍛え上げていく工夫が必要である。その工夫とは、医療現場をはじめとした社会で起こりうる「エピソード」を講義に取り入れることである。せっかく学んだ知識が医療現場で使えるイメージがつかない講義の繰り返しは、学生にとって難しい、苦痛であるという感覚を生み出し、卒業までのモチベーション維持に影響をもたらす可能性が高いと考えられる。スマートフォン世代の学生は、画像や動画を見ることで、理解するという動機付けが強くなってきている。なぜ今、教科書やプリントで講義を受けているのか。そこに対して、時々エピソードを交えた講義を展開することで、スキルがイメージされると共に知識の定着に繋がる好循環が生まれ出されるものと考えられる。90分間、知識教育の一面倒では、学生にわかる講義を展開しているとは言い</p>

	<p>難しい。そこにエピソードを取り入れることで講義内容に対するリアルなイメージをつかむきっかけが生じ、講義が面白くない、ついていけないというスポイル化の抑制につながると考える。</p> <p>私は、医療現場から離れて20年程になるが、常に臨床的スキルが衰えないように、医療現場の薬剤師や医師等から教示いただく努力は欠かしておらず、エピソード教育の見直し効果が生じている。医療人になる学生は、生涯に渡って患者さんに幸せを与えるマインドが醸成されるべきであり、そのためにも教員は、知識とスキルを融合した講義展開を実践すべきであると考えます。</p>
--	---